

コースNo.71 佐賀城周り佐賀の歴史をチョコッと学ぶ

鍋島直正公像前


約3キロコース担当浦川洋一

起点

見所

コース概略

じっくり佐賀城を見て知る魅力

- ①直正公像  平成29年建立佐賀藩10代藩主
- ②佐賀城石垣 石積の種類がわかる時代ごとの工夫に
- ③鯨の門 佐賀の役で被弾した跡が残る
- ④天守台
- ⑤カノン砲
- ⑥佐賀城本丸御殿・東の小さな出入口から出て一旦、北へ東、南に
- ⑦船着き場跡 そのまま堀の内側を南へ西へ
- ⑧南西隅櫓を右手に見て堀端西通りへ
- ⑨南堀端の石垣 護岸工事作り方の説明
- ⑩歩道橋を渡り堀端を更に歩く
- ⑪大通りに出たら美術館入口を右へ
- ⑫美術館裏から彫刻の森、高輪築堤跡の石積み
- ⑬鎌倉期の六地藏など、石造物がお出迎え
- ⑭佐賀の役 殉国十三烈士の碑
- ⑮西堀土塁石垣と門 説明版
- ⑯石垣に取り扱った石工のマークが見える
- ⑰ゴールし、歩き足りなかったら万部島まで (マップコース31, 64参照)



**I** 24ポンドカノン砲(複製)

佐賀藩10代藩主鍋島直正は、嘉永3(1850)年、陸地に反列射を施き、日本で最初の鉄製大砲の試作に成功しました。更に幕府から注文された50門の鉄製大砲を釜川の台場に設置しましたが、残存例は現在のところ確認されていません。この大砲は、1820年頃アメリカで製造されて幕末に輸入され、かつて東京都渋谷区の白銅動物園に置かれていたもの(現在は戸栗美術館所蔵)を原型とする複製品です。

